

トマト抑制栽培における生育・収量

福島県農業試験場野菜部

平成13年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

野菜－トマト－作型・栽培型

分類コード 03-04-18000000

2 担当者

大越聡・渡部誠司・加藤義明

3 要旨

- (1) 5月中旬に播種し、株間を慣行40cmから30cmまで詰めることで、9～11月の収量が慣行長期どりと同等以上となった。
- (2) 株間を狭くしたことにより全般的に小玉となるが、11月の上物(L～M級)収量が多くなった。また、障害果の発生が同時期の慣行長期栽培に比べて少なくなる傾向が認められた。
- (3) 慣行栽培体系と抑制栽培を組み合わせることにより、収穫期の分散が可能である。
- (4) 供試品種は「桃太郎8」(タキイ種苗)

4 その他の資料等

なし